

第7 3つの重点戦略 ～政策展開の方向性～

ビジョンでは、「第5 目指すべき都市・産業の姿（理念）」に示した、目標とする都市像『新価値創造都市・京都』の実現を図るために、次の3つの重点戦略を推進する。

戦略Ⅰ イノベーションによる高付加価値のものづくりとマーケティング

京都企業の優れた技術や大学等の知的資源を生かしてイノベーションを創出するとともに、「環境・エネルギー」「健康・長寿」などの社会的なニーズに対応する成長分野を中心に、幅広い企業の連携を促進して付加価値の高いものづくりを行うとともに、マーケティングを重視した施策を推進する。

戦略Ⅱ 新たな価値の創造による知恵産業の推進

京都の知恵や感性，文化価値などソフトパワーを生かして，世界中から優れた企業・人材を呼び込む仕組みを構築し，そこで生まれる交流を通じてクリエイティブ（創造的）な産業を創出する。

戦略Ⅲ 広域的視点に立った事業環境の整備

京都市内から京都府南部にかけ，また，これに隣接する滋賀県・奈良県・大阪府の一部地域には，大学をはじめとする研究機関や高度な技術をもつ中核企業が集積している。このエリアを中心に産業振興のための事業環境を整備するとともに，広域連携を推進し，京都，関西，ひいては日本の経済成長を牽引していくエンジンとなる産業を集積する。